HUMAN CLOSE UP ヒューマンクローズアップ

音楽がもつ魅力を多くの人たちに知ってもらいたい

音楽家 バイオリニスト アーティスト

葉加瀬太郎（はかせたろう）さん

市立堀川高音楽科（現市立音楽高）出身の葉加瀬太郎さん。さまざまなジャンルの音楽を融合し，世界を舞台に斬新でユニークなサウンドを発信し続けています。その活動の原点は，多感な青春時代を過ごした京都の地で培われたと語ります。今回は，葉加瀬さんの音楽に対する情熱や思い，また親としての立場から子育てに関するご意見をお伺いしました。

夢中になれるもの、それがバイオリンだった

僕がバイオリンを始めたのは四歳のとき。とにかく，小・中学生の頃まではクラシック音楽に夢中でしたね。朝，学校に行く前にバイオリンを弾き，学校から帰ればすぐに譜面に向かう。夏休みを返上して毎日，わずか五分の曲を何度も繰り返し練習するんです。もちろん，友だちと遊ぶ暇なんてありません。当時，僕のクラスでは，人気アイドルの写真を集めたりするのが流行していましたが，僕は「ベートーベンの第九交響曲はだれの指揮が一番いいか」ってことに興味がありましたから（笑）。バイオリンが好きで好きで，ほかのことにはほとんど関心がない，そんな少年時代を過ごしました。

特に，中学生くらいの頃って，肉体と精神がアンバランスな時期ですよね。だから，何かにエネルギーをぶつけていないと自分自身を抑えきれない。勉強でもスポーツでも，打ち込むものは何だっていいんです。僕の場合，それがバイオリンだった。バイオリンを弾いていれば，どんなつらいことがあってもくじけない――。そんな信念のようなものをもっていましたね。

仲間とともに一つの音楽をつくりあげる喜び

堀川高校音楽科に進学して，僕はオーケストラの魅力に目覚めました。音楽科の全生徒が百二十名ほどの小さな規模なので，トランペットやトロンボーン奏者はごくわずかしかいませんでした。でも，仲間同士足りない部分を補いながら，お互いに協力して一つの音楽をつくりあげていく楽しさ，難しさを学びました。定期演奏会が近づくと，世界的に活躍している卒業生が僕たちの前でタクト（指揮棒）を振りに来てくれたりするんです。多感な高校時代，本当に貴重で得がたい経験をさせてもらったと感謝しています。

もう一つ，僕が夢中になったのは，生徒会主催の土曜コンサートの企画運営です。最初は参加者も少なくて，すべてのプログラムに僕が出演するという感じでしたが，続けているうちに学校や地域から認められ，たくさんの人たちがコンサート会場に足を運んでくれるようになりました。現在，僕はさまざまな音楽との融合や国内外のミュージシャンのコラボレートを皆さんに楽しんでいただいていますが，そのすべての原点はこのときの土曜コンサートにあるように思いますね。

子どもに選択肢を与え続けることが親の役目

現在，僕には五歳になる娘がいます。彼女が生まれるまでは，「バイオリンを弾くかどうかは本人が選べばいい」と言ってたのですが，ふと自分自身を振り返ってみると，僕にバイオリンを与えてくれたのは両親じゃないかと思ったんです。これまで自分の道は自分一人の力で切り拓いてきたように考えていましたが，決してそうではないんですね。バイオリンを続けるかどうかは，子どもが決めればいい。でも，親は子どもにいつも何か選択肢を与え続けなければならないということに，娘をもって初めて気付いたんです。

僕がバイオリンを勉強していたときは，クラシックしか選択できない時代でした。でも，最近では僕の曲を演奏したいと思ってくれるバイオリニストがたくさんいます。僕は，博物館に展示するような音楽ではなく，スタジアムでお客さんが楽しんでくれるような音楽を伝えたいと考えているんです。朝，お気に入りの音楽を聴きながら，窓を開けると，さっと爽やかな風が舞い込んでくる……。そんな「人生を豊かにする音楽」は，ジャンルを超えてたくさんあるはずです。昨年，僕は音楽高校の芸術顧問に就任しましたが，後輩たちにはそういう音楽の力を意識してほしいと思っています。まず，自分自身が音楽を楽しむことによって，初めてほかの人たちへ感動を発信できるのですから。

プロフィール ● 1968年大阪府生まれ。4歳の頃からバイオリンを弾き始め，数々のコンクールで入賞を果たす。堀川高校音楽科（現・音楽高校）卒業後，東京芸術大学に入学したが，そこで初めて見たアマチュア・ロックバンドの生演奏に衝撃を受け，それ以来，ポップスに夢中になる。1990年，大学の仲間と組んでいたバンドKRYZLER & KOMPANYのバイオリニストとしてデビュー。セリーヌ・ディオンとの共演で一躍，世界的に名を知られるようになった。1996年解散後はソロとなり，国境やジャンルを越え，ブラジル，ラテン，ジプシー音楽などを吸収したサウンドで独自の世界観を展開。昨年には音楽高校の芸術顧問に就任し，芸術文化の発展に貢献する音楽家の育成に力を注いでいる。代表曲に「エトピリカ」「情熱大陸」など多数。

あしたのために

家庭教育新聞

FOR OUR FUTURE

文化力 CULTURE IS POWER

発行：京都市教育委員会（生涯学習部家庭地域教育支援担当）
京都市中京区寺町御池 ☎075-222-3590
http://www.edu.city.kyoto.jp/katei/iiki

VOL.166 平成17年（2005年）

◆もくじ

2 【特集】 ～魅力ある高校へさらにチャレンジ～
輝いてます！ 市立高校生
堀川の実践を全国のスタンダードに！

3 「子育て体験談／ちょっと聞いて，私の子育て」入選作品
すてきな言葉 東崎すみ子さん（左京区）

● 読書大好き！① ●「輝くおやじ像」大募集！ ほか
第38回 クロスワードパズル

4 みんなで楽しくウォーキング
「義経ゆかりの鞍馬・貴船を訪ねて」

● 親子でレッツ・チャレンジ！「電池をつくってみよう！」
インフォメーション／編集後記

みんなで楽しく 世界一美しいまち、京都を歩く ウォーキング

義経ゆかりの鞍馬・貴船を訪ねて

今回は，NHK大河ドラマ『義経』ブームに沸く鞍馬寺から，水をつかさどる神様を祀る貴船神社へと向かうコースです。緑豊かな森や渓流，昔と変わらぬ動植物が残る鞍馬山は，自然の宝庫として，古くから大切に保護・育成されてきたところです。自然を傷つけず，ゴミを残さず，大自然を満喫しながらマナーを守って歩きましょう。

高校生以上の方：鞍馬山の入山には愛山料［200円］が必要です。

「義経に負けるな！」「険しい山の根道もへっちゃらさ！」

所要時間：約3時間（拝観や見学時間を含まず）
距離：約5.5キロ

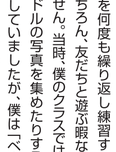
叡山電鉄「鞍馬」駅
↓ 徒歩約3分
鞍馬寺仁王門～由岐神社～川上地蔵堂～義経公供養塔～本殿金堂～霊宝殿（鞍馬山博物館）～義経公背比石～大杉権現社～義経堂～奥の院魔王殿～貴船神社
この間約2時間
↓ 徒歩約15分
貴船神社奥宮
↓ 徒歩約50分
叡山電鉄「貴船口」駅

霊宝殿（鞍馬山博物館）
12月11日まで「百の義経展」を開催中
●電話／075-741-2368
●入館料／大人200円・小中生100円 ●休館日／月曜（祝日の場合はその翌日）・12月12日～2月末日

後ろに見えるは由岐神社の御神木です

牛若丸が修行した鞍馬山を歩こう

叡山電鉄鞍馬線「鞍馬」駅を出て，鞍馬名物の「木の芽煮」や「牛若餅」を売る店を過ぎると，石段の上に鞍馬寺の仁王門がそびえています。鞍馬寺は，平安時代に京の北方を守護する寺として広く信仰されました。鞍馬山はまた源義経が牛若丸と呼ばれた幼少時代に修行したところとしても知られ，ゆかりの遺跡も数多く残っています。仁王門をくぐると，「鞍馬の火祭」で有名な由岐神社近くに，牛若丸の守り本尊を祀る川上地蔵堂，7歳の頃から約10年間住んだとされる東光坊跡に建つ義経公供養塔。清少納言の『枕草子』にも記された九十九折り参道を登り，鞍馬法師が大蛇に見立てた竹を切る古式ゆかしい「竹伐り会式」が行われる本殿金堂や，国宝など数多くの文化財が保管されている霊宝殿を過ぎると，牛若丸が背比べをしたと伝えられる義経公背比石，跳躍練習をしたという木の根道，天狗から武芸を学んだ僧正ガ谷に建つ義経堂などを見ることができます。



貴船神社奥宮にて。楽しかったウォーキングも終わりに近づきました。

渓流沿いに貴船神社の本宮から奥宮へ

奥の院魔王殿から山道を下ると，貴船川のせせらぎが聞こえてきます。鞍馬山西門を出て奥の院橋を渡り，川沿いの道を少し遡ると貴船神社の赤鳥居。貴船神社は古くから晴・雨乞いの神として信仰されてきました。両側に朱塗りの灯籠が並ぶ石段を上りきったところが本宮で，石垣から湧き出す「御神水」や，水に浸すと文字が浮かび上がる「水占みくじ」が参拝者の人気を集めています。夏には涼しげな川床が並ぶ貴船川を遡ると，中宮の結社があり，さらに上流に奥宮があります。奥宮の境内には，神武天皇の母・玉依姫が乗ってきた黄船を石で包んだという伝説が残る船形石が鎮座し，6月の「貴船神社例祭（貴船祭）」には子どもたちが学業進達・無病息災を祈ってこの周りを駆け巡る「子ども千度詣り」も行われます。帰路は川沿いの道を叡山電鉄「貴船口」駅へ。途中の「貴船」バス停から京都バス（貴船線）を利用するのもいいでしょう。

貴船神社で楽しめる水占みくじ

叡山電車で鞍馬駅に到着しました。木の芽煮の香でいっぱいの門前を通り，鞍馬寺の山門を抜け，いよいよウォーキングのスタートです。九十九折りの道が続きますが，子どもたちは元気いっぱい!! 金堂前でひと息いれ，大河ドラマで登場する義経（牛若丸）や天狗を相手に剣術修行をしたと言われる険しい山道に挑戦です。大人の心配をよそに，子どもたちは義経に負けるなとばかり木の根道をどんどん進み，貴船神社まで元気に歩いてくれました。

川岡小学校子育てサポーター 五十嵐大三

親子でレッツ・チャレンジ！

このコーナーでは，親子が協力して体験できるさまざまなことをご紹介します。今回は「自作電池」です。さあ，レッツ・チャレンジ！

監修 京都市青少年科学センター 杉原和男先生

電池をつくってみよう！

用意するもの

ステンレス製スプーン数個・大，アルミホイル，テーブルナプキン，オキシドール，食塩，酢，（電池をつくって動かすものとして）小型ラジオ

※スプーンは光沢がなくなったり穴があいたりするので不要品を用いましょう。

つくり方

1 スプーンをテーブルナプキンで包みます。

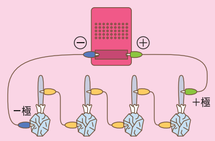
2 オキシドールを手近な容器に入れ，食塩を1／5程度加えてよくかき混ぜます。スプーンを包んでいるテーブルナプキンをこの液で濡らします。

3 10×15cm程度のアルミホイルに酢を小さじ1杯落とし，ナイロンタワシで磨きます（アルミホイルを破らないように注意）。

4 2のスプーンを3のアルミホイルで包みます。この時，スプーンとアルミホイルが接触しないようにします。こうして，スプーンの柄が＋極，アルミホイルが－極の電池ができます。

注意：オキシドールに触れないようにしましょう。もし触れれば，すぐに水洗いしてください。

つかってみよう さまざまな電気製品の電池を取り外し，かわりに自作電池を接続してみましょう。



ここではこの電池でラジオを鳴らしてみます。ラジオの電池が2～4個程度使われていることが多いようです（9V電池が1個使われていることもあります）。そのため，いくつかの自作電池を直列つなぎにする必要があります。いくつつなげばラジオが鳴るでしょうか？ 試してみましょう。

動かすものとして，他にはモーター，豆電球，発光ダイオード（LED），電子オルゴール，液晶時計などがいいでしょう。モーターは，太陽電池用のソーラーモーターが動きやすく，豆電球は1.5V規格のものを用いてください。発光ダイオード（LED），電子オルゴール，液晶表示の時計や電卓，温度計なども動きやすいです。数個の直列つなぎで試してみましょう。

「親子でレッツ・チャレンジ!」では，親子で体験したいことを募集しています。ハガキにチャレンジしたいこと・住所・氏名・電話番号を明記の上，〒604-8571〈住所不要〉京都市教育委員会 生涯学習部家庭地域教育支援担当「親子でレッツ・チャレンジ!」係まで，お送りください。

インフォメーション

血液難病の患者さんに明日への希望を

白血病などの血液難病にかかり，骨髄移植を必要とする患者さんは，毎年約2,000人になります。骨髄バンクへの登録は約5mlの採血ですみます。あなたに救える命があります。

登録申し込み先
京都府骨髄データセンター
☎531-3711

お問い合わせ
市役所健康増進課
☎222-3424

教科書展示会

市立中・高等・総合養護学校で
平成18年度から使用する教科書の見本を展示
※高等・総合養護学校は総合教育センター，京都アスニーのみ

総合教育センター，京都アスニー
醍醐中央・北・洛西図書館
7月6日まで
いずれも10～17時（休館日除く）

●お問い合わせ 学校指導課 ☎222-3808

第7回「地域教育フォーラム・イン京都」 学校・家庭・地域「協力から協同へ，参加から参画へ」

京都からの発信

～語ろう，創ろう，これからの日本の教育～ 参加無料

日時 平成17年8月22日（月）・23日（火）
会場 国立京都国際会館 メインホール ほか

22日 午前 オープニング（京都市立紫野高等学校吹奏楽部）
特別講演：鎧山秀三郎氏（日本を美しくする会相談役）
午後 分科会（美化活動，子ども安全，学校運営協議会 ほか）

23日 午前 人権劇「生きる・4」（京都市立弥栄中学校）
中学生「生き方探究・チャレンジ体験」の成果報告
午後 分科会（総合育成支援教育，みやこ子ども土曜塾 ほか）

詳細はホームページをご覧ください
http://www.edu.city.kyoto.jp/chikyousen/

●お問い合わせ 京都市教育委員会 地域教育専門主事室
☎254-5007 FAX:254-5008

ミュージカル『アイーダ』を京都劇場で

大阪公演で人気を博した劇団四季ミュージカル『アイーダ』京都公演が始まりました。『アイーダ』は，古代エジプトのナイル川のほとりで繰り広げられる永遠の愛の物語。ぜひ，この洗練されたミュージカルを京都劇場でご覧ください。

チケットは，8月28日分まで好評発売中
9月1日～10月23日まで，6月26日発売開始

会場 京都劇場 JR京都駅ビル内
料金 11,550円～3,150円

●お問い合わせ●
劇団四季 関西公演本部京都オフィス ☎353-3551
文化課 ☎222-4105

編集後記

●中教審「幼児教育部会」や「地方教育行政部会」の委員等を歴任する門川大作教育長が，このたび中教審「教員養成部会」・「教員免許更新制」ワーキンググループ，文科省「教職員配置等の在り方調査研究者会議」の各委員に就任。「京都から学ぼう」と，京都市の教育改革に日本中から熱い視線が注がれています。

●市立高校では，全校で特色ある高校づくりが進んでいます。充実した教育活動を通して，あらゆる子どもの夢が実現することを願っています。

R100 この新聞は古紙配合率100%再生紙を使用しています